

# 2009 年度ヤングサイコロジストプログラム ( YPP2009 )

## 企画趣旨

この企画は、若手研究者が互いに自身の研究について議論する場を通して、若手研究者間の交流を促進することを目的としています。

今回も、例年どおり、発表者を募集いたしました。堅苦しい研究会ではなく、「研究に関する質問に対して、参加者全員で考える」という環境にしたいと思っております。また、今回は研究発表だけではなく、「院生生活の実態」という企画を行います。修士課程修了者、博士課程修了者、有職者の話題提供者に、これまでの院生生活を振り返っていただき、研究実施や論文執筆、学会活動など他の活動に関する情報を提供していただきます。「どのくらいのペースで研究を実施したのか」「論文の執筆はいつからはじめたのか」など、具体的な内容をお話していただきます。

日本パーソナリティ心理学会では、多くの若手研究者が活躍しております。しかし、研究テーマが異なるとあまり話をする機会もありません。

この機会に、他大学の方や他領域の方たちと交流してみませんか？

## 日時

2009 年 11 月 27 日 ( 金 ) 15 時 ~ 18 時

## 場所

川崎医療福祉大学 本館棟 4 階 4001 演習室

( 日本パーソナリティ心理学会第 18 回大会プログラムの 5 ページに地図がございます )

## 参加費

無料 ( 飲み物つきです。昨年と同様、ご当地のお菓子の持ち込み大歓迎です ! )

## 参加資格

日本パーソナリティ心理学会会員に限る。

学部または大学院に在籍している学生、もしくは学部卒業または大学院修了 ( 退学含む ) 5 年以内の方。

## 懇親会

終了後に、会場近くで懇親会を予定しております。

## タイムテーブル

15:00	開会 参加者自己紹介	
15:15	研究発表1	盛崎俊浩
15:40	研究発表2	有馬將太
16:05	研究発表3	浦田悠
16:30	休憩	
16:40	企画「院生生活の実態」	
16:45	修士課程修了者	守谷順
17:05	博士課程修了者	赤坂瑠以
17:25	有職者	金政祐司
17:45	ディスカッション	
18:00	閉会	
18:30	懇親会	

(敬称略)

## 抄録

### 研究発表1

#### 会話の公準違反と欺瞞性

盛崎俊浩 久留米大学大学院心理学研究科

会話の公準(Grice, 1975)とは会話の参加者が守るように期待されている原則のことである。会話の公準を破る発言内容は聞き手にとって欺瞞性が高く認知されるといわれている。本研究では、量の公準を除く3つ(質、関係、様式)の公準を一つだけあるいは複数同時に破る発言内容に対する聞き手の欺瞞性の認知の度合いを検討した。実験参加者には、村井(1998)に類似した日常場面の描写文と、そこでなされる会話の問いかけ文を呈示した。続いて種々の公準違反を組織的に組み合わせた応答文を呈示し、欺瞞性を7件法で評定してもらった。その結果、公準を一つだけ破る発言内容の欺瞞性より、複数同時に破る発言内容の欺瞞性が先行研究と同様に高かった。また複数同時に公準を破る発言内容に対しては、欺瞞性の認知の程度に有意な差は認められなかった。

## 研究発表2

### 同性愛者のセクシュアリティ受容に関する一考察

有馬將太 久留米大学大学院心理学研究科

同性愛者のセクシュアリティ受容はこれまでアイデンティティの獲得として捉えられ、そのプロセスモデルがいくつも提案されてきた（Cass, 1979; Toroiden, 1989 など）。それとともに同性愛者の“語り”からセクシュアリティの受容を促進する要因や阻害する要因が検討されてきた。しかしそうした研究の多くは当事者でないものの視点からのみ捉えられたものである。“語り”は語り手と聞き手の共同制作であり、“聞き手が誰か”によって語り手の語る内容は変化する（上野, 1998）。つまり先行研究で述べられている結果は異性愛者との“語り”で得られたものであり、当事者間でしか語られない内容が欠けていると考えられる。本研究は当事者である研究者と参加者の相互作用から得られた知見からモデルの再検討を行うことを目的として、同性愛者との面接を行っている。

## 研究発表3

### 人生の意味の心理学 モデルの構成と実証的検討

浦田悠 名城大学大学院総合学術研究科

人生の意味（meaning of life, meaning in life）に関しては、心理学において実証的・臨床的研究が蓄積され、ストレス、パーソナリティ、ウェルビーイング、ライフイベントなどとの関連が検討されてきた。しかし、人生の意味の概念そのものについては、心理学では哲学の問題であるとされるものの、哲学ではナイーブな概念として等閑視されることが多く、包括的な整理がなされてきたとは言い難い。そこで筆者は、人生の意味の概念的・実証的な知見の整理を経て、人生の意味に関するモデルの構成を試みた。今後は、このモデルを用いつつ、実証的知見および実践への示唆を得たいと考えている。本発表では、このモデルを紹介するとともに、現在開発中の人生の意味に関する尺度（Important Meanings Index: IMI）および意味システムアプローチによる自由記述分析の方法論を提示したい。

## 企画

### 院生生活の実態

3名の先生方に、これまでの院生生活を振り返っていただき、研究実施や論文執筆、学会活動、教育活動についてお話していただく予定になっております。「どのくらいのペースで研究を実施したのか」「論文の執筆はいつからはじめたのか」など、具体的な内容をお話していただく予定です。

修士課程修了者 守谷順先生（東京大学）

博士課程修了者 赤坂瑠以先生（お茶の水女子大学）

有職者 金政祐司先生（大阪人間科学大学）

若手研究者の交流の場であることを最大限に生かし、ここでしか聞けない話を伺いたいと思っております。修士・博士論文の執筆過程をイメージすることができたり、就職のコツ（？）が聞けるかもしれません。さらに、参加者からの質問にも、お答えいただけるようです。

## 参加者一覧（予約申し込み）

赤坂瑠以	お茶の水女子大学大学院	人間文化創成科学研究科	（話題提供者）
浅野良輔	名古屋大学大学院	教育発達科学研究科	
阿部美帆	筑波大学大学院	人間総合科学研究科	（企画者）
有馬將太	久留米大学大学院	心理学研究科	（研究発表者）
家島明彦	島根大学	教育開発センター	
上田紋佳	兵庫教育大学大学院	連合学校教育学研究科	
浦田悠	名城大学大学院	総合学術研究科	（研究発表者）
江村早紀	香川大学大学院	教育学研究科	
落合萌子	筑波大学大学院	人間総合科学研究科	（企画者）
片岡祥	久留米大学院	心理学研究科	
門倉睦実	国際基督教大学大学院	教育学研究科	
金政祐司	大阪人間科学大学	人間科学部	（話題提供者）
神戸尚子	京都大学大学院	人間環境学研究科	
佐藤史緒	東洋大学大学院	社会学研究科	（企画者）
鈴木公啓	東洋大学	社会学部	
相馬拓郎	東洋大学大学院	社会学研究科	
中谷陽輔	同志社大学大学院	文学研究科	
長谷川由加子	上智大学大学院	総合人間科学研究科	
本田周二	神戸学院大学	人文学部	
守谷順	東京大学大学院	総合文化研究科	（話題提供者）
盛崎俊浩	久留米大学大学院	心理学研究科	（研究発表者）
結城裕也	東洋大学大学院	社会学研究科	（企画者）

（敬称略、あいうえお順）

YPP2009 には、日本パーソナリティ心理学会第 18 回大会準備委員会より多大なご支援をいただきました。心から感謝の意を表します。

### 主催

日本パーソナリティ心理学会広報委員会

### 企画

阿部美帆(筑波大学)・佐藤史緒(東洋大学)・結城裕也(東洋大学)・落合萌子(筑波大学)  
問い合わせ先：jspp.wk@gmail.com